

(記入例)

21 血圧 mmHg					
収縮期			拡張期		
1	1	9		7	5

7. 申請書22 (遠見視力) は、次のとおり記入して下さい。

- (1) 裸眼視力は、検査結果が0.1以上の場合は左詰めで小数点以下第1位まで(第2位以下切り捨て)、0.1未満の場合は小数点以下第2位まで(第3位以下切り捨て)を記入すること。
- (2) 矯正視力は、右詰めで小数点以下第1位まで(第2位以下切り捨て)を記入すること。
- (3) 常用眼鏡は、球面レンズの種類を「-」又は「+」で記入し、屈折度を等価球面度数によって算出し、右詰めで小数点以下第2位まで(第3位以下切り捨て)を記入すること。

なお、コンタクトレンズを使用する者については、予備眼鏡の屈折度について算出し、その数値を記入してもよい。

(計算例)

$$\textcircled{1} S-0.5^D \textcircled{C} y 1-0.75^D A 90^\circ = -0.5 + (-0.75 \times 1/2) \quad \text{※}$$

$$= -0.875^D \quad \doteq \quad -0.87^D$$

$$\textcircled{2} S+2.00^D \textcircled{C} y 1+0.5^D A 180^\circ = +2.00 + (+0.5 \times 1/2) \quad \text{※}$$

$$= +2.25^D$$

$$\textcircled{3} S+1.00^D \textcircled{C} y 1-2.00^D A 90^\circ = +1.00 (-2.00 \times 1/2) \text{※} = 0.00$$

※ 円柱度数に記号(符号)をつけたまま1/2を乗じて球面度数に加えること。

なお、第2種身体検査基準を適用する場合は、両眼の遠見視力の検査は必要ありません。

(記入例)

22 遠見視力																					
裸眼視力							矯正視力				常用眼鏡 屈折度										
右	0	・	2		両眼		右	1	・	0	両眼		右	-	2	・	7	5			
左	0	・	0	7	0	・	2	0	左	0	・	9	1	・	0	左	-	4	・	5	0

8. 申請書23 (中距離視力) は、該当する「適合」「不適合」の欄に○印を記入して下さい。

また、矯正眼鏡の使用の有無を確認し、該当欄に○印を記入して下さい。

なお、第2種身体検査基準を適用する場合は、検査の必要はありません。